

【庁内会議議題（１）】「かながわ自殺対策計画（平成30～34年度）」の進捗状況について

資料4

「かながわ自殺対策計画」の令和2年度進捗状況を確認のうえ、他課所管事業との事業連携の提案等について記入するもの。

No.	提案課	所管課	施策番号	施策事業名	提案等	所管課からの回答
庁(1)-1	生活援護課	精神保健福祉センター	167	自殺未遂者支援研修の実施	生活援護課所管の生活困窮者自立支援制度都道府県研修（施策番号056参照）の中で、自殺願望者等の対応方法等について講義をお願いできればありがたい。	自殺に傾いた方・メンタル不調の方に気づき、適切な対応することを目的にゲートキーパー養成研修の講師を派遣しています。また、メンタルヘルスに関するリーフレット（自殺対策・アルコール健康障害・うつ病など）の提供も可能です。ご活用ください。
庁(1)-2	精神保健福祉センター	雇用労政課	040	メンタルヘルス講演会の開催	「自殺対策」、「こころの不調に気づき、適切に対応すること」、「ストレス対処法の知識」をさらに深めることを目的として講師を派遣しています。また、メンタルヘルスに関するリーフレット（アルコール健康障害・うつ病など）の提供も可能です。ご活用ください。	講師の活用については、講演会を実施する際に検討します。提案のありましたリーフレットは、かながわ労働センター4か所へ配架が可能です。
庁(1)-3	精神保健福祉センター	雇用労政課	112	啓発資料の作成、配布等	メンタルヘルスに関するリーフレット（自殺対策・アルコール健康障害・うつ病など）の提供も可能です。ご活用ください。	提案のありましたリーフレットは、かながわ労働センター4か所へ配架が可能です。
庁(1)-4	精神保健福祉センター	生活援護課	056	ワンストップ支援推進事業	自殺に傾いた方・メンタル不調の方に気づき、適切な対応することを目的にゲートキーパー養成研修の講師を派遣しています。また、メンタルヘルスに関するリーフレット（自殺対策・アルコール健康障害・うつ病など）の提供も可能です。ご活用ください。	養成研修については、生活困窮者自立支援制度都道府県研修での連携を図りたい。リーフレットについては、各市生活困窮者自立支援制度担当者会議等において、周知したい。
庁(1)-5	精神保健福祉センター	子ども教育支援課 高校教育課	086	SOSの出し方に関する教育の実施	国は各地域ごと実情に合わせたSOSの出し方に関する教育の実施を推奨しています。SOSの出し方に関する教育を実施するために、各市町村自殺対策担当課との連携に協力できることがありましたら、ご相談ください。	高校教育課では、今年度、総合教育センターと連携し、SOSの出し方に関する教育について指導資料を作成しており、県立高等学校・県立中等教育学校に年度内に周知予定です。また、管理職等対象の教育課程説明会の場でもSOSの出し方に関する教育について周知を図っています。今後、これらの活動もしくは他の方法で、精神保健福祉センター様と連携をお願いすることがあるかもしれませんので、その際は具体の協議をさせていただければと存じます。

【庁内会議議題（２）】「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を踏まえた今後の施策について

資料5

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を確認のうえ、①～⑩のテーマについて課題とそれに対する取組を記入するもの。

No.	所管課	テーマ	課題	課題に対する取組	実施済/ 拡充/新規	他課・他所属 との連携有無	左記テーマの 他に関係する テーマ
庁(2)-1	高校教育課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	高校生の自殺者数の増加	かながわ「いのちの授業」の取組やSOSの出し方に関する教育、自殺予防について、他課と連携し、教育課程説明会等の機会を利用してより一層の周知徹底を図る。	実施済	○	
庁(2)-2	共生推進本部室	⑥生きづらさを感じる方への支援（孤独感・孤立感、性的マイノリティの問題を含む）	当事者支援と理解の促進	性的マイノリティ（LGBT等）当事者の相談事業を実施するとともに、企業担当者や、児童養護施設職員等を対象とした研修事業を実施。	実施済		⑤
庁(2)-3	私学振興課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	学生・生徒等の若者の自殺者数の増加	文部科学省通知を各私立学校に周知し、児童・生徒及び学生の心のケア等への取組を依頼している。	実施済		⑥⑦
庁(2)-4	生活援護課	④経済・生活問題による自殺	休業者、失業者の増加	住居確保給付金や自立支援金の受給者で、求職活動がうまくいかない方に、雇用労政課の就労支援の取組を周知する。	新規	○	
庁(2)-5	精神保健福祉センター	①女性の自殺者数の増加	女性の自殺者数の増加	うつ病の基礎知識と女性のライフサイクルに合わせたメンタルヘルスと対応方法を学ぶ機会としてうつ病講演会をオンラインで開催した。	実施済		
庁(2)-6	精神保健福祉センター	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	大学生の自殺者数の増加をみて、ゲートキーパーの知識、メンタルヘルスについて学び対処法を身につけることを学ぶ機会が必要である。	ゲートキーパーに関する知識、メンタルヘルスを学ぶ機会として、大学において、大学生や教職員に対しゲートキーパー養成研修を開催した。県内大学2か所ゲートキーパー養成研修を実施。	実施済		
庁(2)-7	精神保健福祉センター	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	児童・思春期の自殺者の増加をみて、自殺に傾くSOSのサインに気づき、対応ができる人材（ゲートキーパー）を育成する機会が必要である。	小・中学校、高等学校等において、教職員を主な対象として自殺対策に関する知識と児童・生徒のこころの不調に気づき、適切な対応することを学ぶことを目的として出前講座を開催した。また、講師派遣や書面開催で研修資料の提供等を行い、ゲートキーパー養成を行った。	実施済	○	
庁(2)-8	精神保健福祉センター	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	児童・思春期の自殺者の増加をみて、SOSの出し方に関する教育を各地域の実情に合わせて実施する必要がある。	自殺対策担当者会議において、各市町村自殺対策担当者を対象に自殺予防教育に関する研修を開催。併せて、自殺対策担当課と小学校が連携してSOSの出し方に関する教育を地域の事情に合わせて実施している好事例の取組を紹介した。	実施済	○	

【庁内会議議題（２）】「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を踏まえた今後の施策について

資料5

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を確認のうえ、①～⑩のテーマについて課題とそれに対する取組を記入するもの。

No.	所管課	テーマ	課題	課題に対する取組	実施済/ 拡充/新規	他課・他所属 との連携有無	左記テーマの 他に關係する テーマ
庁(2)-9	精神保健福祉センター	④経済・生活問題による自殺	コロナ禍で自殺者数の増加により、県民の多岐にわたる複合的な問題に対して、解決の糸口を探るワンストップ相談会が必要である。	コロナ禍によりメンタル不調、生活苦を抱える等の様々な困りごとに対し、多職種の専門相談員が複数で相談対応し、必要な支援につながる機会として、オンライン包括相談会を実施した。（対面包括相談会は2月に開催予定）	実施済	○	
庁(2)-10	精神保健福祉センター	⑦自殺未遂者の再発の自殺企図を防ぐための対策	コロナ禍で自殺者数の増加をみて、自殺未遂者に対して迅速に適切な相談窓口につなげる必要がある。	自殺未遂で搬送された患者や自殺のリスクが高い患者に対し、本人や医療機関関係者からの依頼に基づき、司法書士が病院に赴き法律相談を行う「ベットサイド法律相談」の周知を県域医療機関、各関係団体等に行った。	実施済		
庁(2)-11	精神保健福祉センター	⑦自殺未遂者の再発の自殺企図を防ぐための対策	コロナ禍で自殺者数の増加をみて、自殺未遂者に対して適切な支援ができる人材を育成する機会が必要である。	支援者を対象に自殺に傾く方の対応方法を学ぶことを目的として、自殺対策基礎研修2（自殺未遂者支援研修）をオンラインで開催。特に自殺者が増加している若年者の対応について学ぶ機会とした。	実施済		
庁(2)-12	精神保健福祉センター	⑧遺された方々への支援	コロナ禍で自殺者数の増加により、ハイリスク群といわれる自死遺族の支援が必要である。	自死遺族の心理的な苦痛を和らげ、相互に安心して体験を話れる場として、自死遺族の集いを感染症対策を講じ、小グループ制にして開催した。また、自死遺族電話相談、面接相談を行った。	実施済		
庁(2)-13	精神保健福祉センター	⑩その他	コロナ禍で自殺者数の増加により、県民を対象として自殺対策に関する知識や相談窓口等の普及啓発が必要である。	イトーヨーカドーにおいて自殺対策普及啓発リーフレットを配架した。また、県城市町村、各保健福祉事務所・センター等に配架し、広く県民に普及啓発を行った。	実施済		
庁(2)-14	精神保健福祉センター	⑩その他	コロナ禍で自殺者数の増加により、様々な分野でゲートキーパーとしての役割を果たす人材が必要である。	県民と学生を対象にゲートキーパー養成研修をオンラインで開催した。また、司法書士会や労働センター等に研修講師を派遣し、ゲートキーパーを養成した。	実施済		
庁(2)-15	保健体育課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	児童生徒の自殺者数の増加	学校保健安全法に基づき行われる各校における健康相談、保健指導を行う際に、各校より相談等があれば適宜助言を行う。	実施済		⑥
庁(2)-16	健康増進課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	女性の増加率の上昇相談がしにくいセンシティブな悩みによる孤立感・孤独感の高まり	委託先の県助産師会により、予期しない妊娠等に対して電話、LINE等の体制整備をし、1人で悩みを抱えないようにする。	実施済		
庁(2)-17	健康増進課	⑤健康問題（身体面・精神面）による自殺	妊娠・出産数が高まる30歳代の自殺割合が高い。	委託先の県助産師会により、コロナウイルス妊産婦電話相談を行い、1人で悩みを抱えないようにする。	実施済	○	

【庁内会議議題（2）】「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を踏まえた今後の施策について

資料5

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を確認のうえ、①～⑩のテーマについて課題とそれに対する取組を記入するもの。

No.	所管課	テーマ	課題	課題に対する取組	実施済/ 拡充/新規	他課・他所属 との連携有無	左記テーマの 他に関係する テーマ
庁(2)-18	健康増進課	⑤健康問題（身体面・精神面）による自殺	妊娠・出産数が高まる30歳代の自殺割合が高い。	委託先の県助産師会により、コロナウイルス寄りそい型支援を行い、1人で悩みを抱えないようにする。	実施済	○	
庁(2)-19	学校支援課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	児童・生徒の自殺者数の増加	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、不安やストレス等を抱えた児童・生徒のケア等に対応するため、スクールカウンセラーの配置及び勤務時間の拡充を行う。	拡充		
庁(2)-20	学校支援課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	児童・生徒の自殺者数の増加	平成23年3月に発行した「児童・生徒の自殺予防に向けたところサポートハンドブック」を改訂し、併せて自殺予防のゲートキーパー研修を各学校で活用・実施する。	新規	○	
庁(2)-21	がん・疾病対策課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	大学生の自殺者数の増加	県内大学の協力により、学生が使用する学生ポータルサイトでの相談窓口の周知や、県内学校（大学含む）の協力を得て、相談窓口に誘導する周知物（カード、シール等）を配架する。	新規	○	⑥
庁(2)-22	がん・疾病対策課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	学生・生徒等の自殺者数増加に関し、学校外の窓口を案内する必要がある。	スクールカウンセラー等学校内の相談窓口だけでなく、広くこころの健康に関する相談窓口を教育委員会等を通じて周知する。	新規	○	⑥
庁(2)-23	がん・疾病対策課	③勤務問題による自殺	勤務問題によって休職した方への対応やメンタルヘルス対策の推進について、企業の人事・産業保健関係職員へ知識を普及することが必要。	企業や組合に対し、県ホームページ「かながわこころの情報サイト」など、こころの健康に関する情報を普及啓発する。	新規	○	④
庁(2)-24	がん・疾病対策課	⑥生きづらさを感じる方への支援（孤独感・孤立感、性的マイノリティの問題を含む）	行政でカバーしきれしていない問題や、行政窓口ではハードルを感じる方々がいる。	県ホームページ「かながわこころの情報サイト」に掲載できるNPO等の相談窓口を各課に照会のうえ、周知する。	新規	○	
庁(2)-25	がん・疾病対策課	⑩その他	コロナに携わる医療従事者のうち、陽性者だけでなく疑似症患者の担当者に心の悩みを抱える方が多い。	県立病院機構が実施した調査結果やそれを踏まえた取組を県内医療機関に周知し、医療従事者のこころのケアに取り組む。	新規	○	
庁(2)-26	がん・疾病対策課	⑤健康問題（身体面・精神面）による自殺	うつ病を抱える人の多くは精神科ではなく内科を受診することが多く、初期治療に遅れが出る。	治療薬、特に睡眠導入剤等を処方された方に情報が届くよう、治療薬販売時にうつ病に関するリーフレット等を配布し、うつ病の正しい知識の普及を行う。	新規		

【庁内会議議題（２）】「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を踏まえた今後の施策について

資料5

「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における自殺の状況」を確認のうえ、①～⑩のテーマについて課題とそれに対する取組を記入するもの。

No.	所管課	テーマ	課題	課題に対する取組	実施済/ 拡充/新規	他課・他所属 との連携有無	左記テーマの 他に関係する テーマ
庁(2)-27	がん・疾病対策課	⑤健康問題（身体面・精神面）による自殺	職域や学校、家庭における身近な人のメンタルヘルスの問題に対し、手助けできる人材を増やす必要がある。	うつ病などの精神疾患や心の不調に悩む人を支える人材を養成する「心のサポーター養成事業」の試行自治体として、養成研修を実施した。	実施済		
庁(2)-28	がん・疾病対策課	③勤務問題による自殺	職場の同僚などに対するゲートキーパーとしての役割を果たす人材を育成する必要がある。	企業や組合の人事・産業保健関係職員に対しての、ゲートキーパー研修の機会増加に取り組む。	拡充	○	④
庁(2)-29	がん・疾病対策課	②学生・生徒等・若者の自殺者数の増加	学生・生徒等の自殺者数増加に関し、ゲートキーパーとしての役割を果たす人材を増やす必要がある。	学校教員や大学生向けのゲートキーパー研修の機会増加に取り組む。	拡充	○	
庁(2)-30	がん・疾病対策課	⑦自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための対策	自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぎ、社会復帰に結びつけていくための対策の拡充を検討する必要がある。	地域自殺対策担当者会議等で対策を検討し、部署間、自治体間の連携を深める。	拡充	○	